

故郷で二十歳の誓い。

平成21年 和水町成人式

1月4日、中央公民館で和水町の新成人を対象に成人式が開催されました。この日は164人の新成人が晴れ着姿で出席、未来への希望と再会を誓い合いました。今、大人への一步を踏み出した新成人の思いを紹介します。

僕は今、この町から山鹿の会社に勤めに出ています。こんな僕ですが一度はこの町を離れて横浜の大会の中心に暮らしていました。中学の時から「こんな田舎じゃなく都会に住みたい！」と都会での生活に憧れていました。そして、高校を卒業後、横浜の会社に就職することができました。横浜での生活は、野球観戦・中華街での食事・電車に乗れば東京まで30分。初めは何もかもが珍しく新鮮に感じていましたが、生活をしていく中で何か物足りなさを感じてきました。そしてそ

れが人とのつながりだと気づきました。地元に住れば、「今は、蜚祭り・町民体育祭の頃だな。」必ずと言っていいほどの声かけ、挨拶など「人」が近くに感じられました。そう考えだすと無性に和水が恋しくなりました。父の病氣もあり思い切って和水に戻ってくることにしました。帰ってきて、「やっぱり和水は落ち着くなあ」と思いました。都会にはなかった人と人のふれあいがこの町にはたくさんあって、水も空も空もすべてが優しく思えます。今、僕はこの町で暮らそうと思っています。

僕は一人暮らしをして、家族の温かさ、ありがたさがわかりました。毎日の食事・弁当・洗濯などやってもらうのが当たり前だと思っていました。その当たり前が当たり前でないことを都会での生活は気付かせてくれ、家族に感謝の気持ちを覚えました。この町を離れて暮らしている方は僕と同じような思いを抱かれたことがあるのではないのでしょうか。当たり前のことを当たり前に行うことができる大人になっていけばいいと思います。二十歳になり、今まで以上



に自分の行動、言動に責任が問われることになります。軽率な行動は慎み、素直な気持ちで会社に貢献できることで、育ててくれたこの町に恩返しができるのではないかと考えます。

僕は今、和水町消防団の一員です。今までは、消防団の活動のことは、何一つ知らずにいました。年末に初めての夜警を経験しました。夜中1時から寒さに耐えながら1時間ほどかけて地域を一周しました。毎年、消防団の方々がこんなに大変な思いをして町を守っていたのかと改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。この町が、安全で安心して住みやすい町になるよう自分なりに役立とうと思っています。これからも、町や地域に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

最後に、このような式を挙行していただいた町当局、参加いただいた御来賓、そして今日まで携わって頂いた先生方・地域・友人・家族に感謝したいと思います。ありがとうございます。

新成人代表

池上 大地

和水町になって三度目の開催となった成人式。該当者は181人に対し、出席した新成人は164名でした。久々の再会に歓喜の声が絶えず、懐かしい顔を見つけては抱き合ったり、写真を撮り合ったりする新成人たちの笑顔であふれ、会場は盛り上がりを見せていました。

式典では、坂梨町長や小中学生から温かいメッセージが贈られ、池上大地君（中十町）と稲員成美さん（立石）の意見発表では、新成人としての決意が強く感じられました。式典後のアトラクションでは、中学時代の写真や恩師からのメッセージなどの放映があり、式典の厳粛な雰囲気とはうって変わり笑いの声と拍手が絶えないものとなりました。成人とは「人と成る」こと。自覚、責任、行動が備わってこそ心も体も大人の社会への仲間入りをしたといえるでしょう。かけがえのない故郷には大切な仲間と自分自身の居場所があるということを、この日に再確認したことを忘れず、感謝や決意を胸に、それぞれの未来を築いていってほしいと思います。

本日20歳という節目の目をむかえ、今、大人の仲間入りをしたということを実感しています。この20年を振り返ってみますと、私はさまざまな体験をしました。小中学校時代には、小中部活動のキャプテンをし、高校時代には生徒会活動、英語・日本語弁論大会への出場、国際交流への参加など毎日飽きることなく過ごしてきました。このような経験の中で私は物事を多方向から捉えることの大切さや、礼節を重んじることを学び、少しづつ精神的にも、肉体的にも成長してきたように感じられます。そしてこの20年間で様々な人種の人々と出会い、自らの見聞を広めるとともに、

私の夢への架け橋となる英語という言語に携わることができました。現在は、英語を学ぶことが私にとって生きがいだと感じています。17歳の春、私は初めて異国の地アメリカに踏み出し、ホームステイを体験しました。この体験が、私の世界に対する視野を広める糧となり、これが私の人生における分岐点になったような気がします。私はアメリカでの体験を機に、さらに英語に対する情熱が深まりました。そしていつしか、英語を習得し、世界に通用する言語である英語を通して、人々の相互理解を助けるために力を注ぎたいという夢が生まれました。

その夢を叶えるために、私は現在、大学で英語を専攻し、毎日英語という言語に真剣に向き合っています。長期休暇には、アメリカに行き大学で学んだことを実践すると同時に、何がまだ自分に足りていないのかを感じながら、国際交流を楽しんでいます。帰国後は、現地で学んだことを生活、勉強に活かし、更なる英語力向上と、自分自身のスキルアップに全力を尽くしています。近い将来、再びアメリカに留学し様々な事を学び、自信をもって「英語を話せます」と言える自分をつくりあげたいと考えています。また、アメリカにはアメリカの良さがあると同じように、和水町にも自



然と歴史のすばらしさがあります。このすばらしい自然と歴史を、和水町住人である私達が大切にしていかなければならないと思います。そして私はこのすばらしさを、外国の家族や友達に伝えていきたいです。

私がつもってきた人生の道、またこれから通る人生の道は、世界中を探し回っても私以外誰も通ることはありません。だからこそ、人生一度きりの自分の道を自分らしく、一生懸命生きていき、自分の人生を最高の舞台へと導いていきたいです。

和水町を離れ、アメリカに行った事により、いつも何気なく過ごしてきた両親や友達との生活の重要性に気付きました。このような夢を抱くことができた両親、支えてくれた友達に深く感謝いたしております。これからには人に頼りすぎることなく、私も社会の一員として自覚と責任を持ち、今何をすべきであるかをよく考え、より一層自己を律し、真摯に人生を生きていかなければならないと決意を新たにいたしました。

最後に、今日このようなすばらしい成人式を開催していただきありがとうございます。

新成人代表
稲員 成美